

宮崎県

- ①屋外型トレーニングセンターでの活用
- ②木製品への加工
- ③原木調達協力自治体への提供

【概要・アピールポイント】

- ・多くの県民の方々の目に触れるよう、また実際に触れて頂けるようにベンチ、バックボード等を製作した。
- ・当時使われた材の状態が伝わるよう、必要最小限の加工とした。

■ 資材提供のきっかけ

全世界が注目する2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の関連施設である「選手村ビレッジプラザ」に県産材を提供し、大会終了後は県内に持ち帰り、レガシー（遺産）として活用する等、国内外から注目されるオリパラの情報発信効果を活用し、県産材利用をPRすることにより、県産材の新たな需要開拓につなげるため。

■ 提供した木材の概要

スギ 約89m³

■ 用途

- ・屋外型トレーニングセンターの木廊、木柵、トイレルーバー、シューズ掛けに再利用した。
- ・ベンチ50台、木製バックボード1基、コースターの作製。
- ・原木調達協力自治体においてベンチ等への再利用。



■ 完成/使用開始時期

①②2023年3月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

②ベンチ：県内公共施設等へ設置。
木製バックボード：県庁内講堂に設置し、知事定例記者会見等で使用。

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ・一度使われた材であるため、再利用の際に、安全面を考慮し、穴等の補修などを行う必要が多々あった。
- ・屋外型トレーニングセンターでの再利用や、県内公共施設等へのベンチ設置、バックボードのG7宮崎農業大臣会合の会場での展示等によって、県内外へ宮崎県産材をアピールすることができた。

問合せ先

環境森林部 山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室
木材利用拡大担当
電話：0985-26-7156

